

一般質問



観光振興・人権教育・防災で 活気と安心を！



無会派 ● 藤川 みゆき 議員

市の観光振興について

問 歴史遺産の観光利用について

答 来年度から3年間でかけて「湖南市文化財保存活用地域計画」を策定する予定で、調査をし、市内にある文化財の保存および観光を含めた活用のため進めていく必要があります。

問 未開拓の例えば谷城などの活用について

答 市内には24の城郭跡があるとされているので、まずはこれらの調査を行い、観光面の活用を検討していきたいと考えています。

人権教育について

問 ボランティア活動を通じて「自分が必要な人間」と実感することが人権教育にも必要

で、学校現場だけでなく地域の中で学んでもいいと思うのですが、見解は。

答 自尊感情を高める

取り組みは日常の教科

学習や特別活動などで重要視して進めています。

今後、子どもたちが様々な地域や人との出会う体験的な学習を通して学ぶ価値はますます高まっていくと考えています。

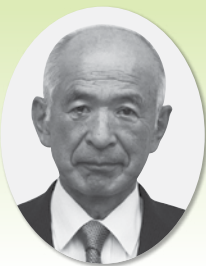
体育施設の空調について

問 湖南市総合体育館は「救援物資等集積所」となっているが、昨今の災害では関連死など避難所の環境が課題とな

っているのが小アリーナを災害弱者の避難所にするなど地域防災計画の見直しが必要ではないでしょうか。

答 小アリーナには畳もあることから柔軟な運用を検討します。学校体育館の空調整備を

行うことから現在、配置している暖房器具の再配置も検討しているところです。



庁舎整備について



会派 きずな ● 望月 卓 議員

問 現状の取り組みについて

答 令和5年6月に庁舎整備基本計画策定に

かかる業務委託を発注し、過年度業務の精査

等の条件整理、庁舎の規模、配置等の整備方

針、周辺整備の将来像

とその財源の検討など

を進めています。現在

は、東・西庁舎周辺整備の方向性(コンセプト)

の設定や統廃合または

存続させる施設の選定

と配置イメージの作成、

東庁舎の耐震工法の比較

検討などを行っています。

議員が危惧し指摘された

今の能登半島地震をはじめとする耐震対策は、

検討事項の中でも特に重要事項と捉えて検討

しています。事業継続計画(BCP)の観点から

も、倒壊を免れるだけでなく、

防災直後から直ちに庁舎の各業務

が機能し、災害応急活動が実施できるような

庁舎整備が必要と考えているところです。

現在、既存の東庁舎

について検討しております。

まずのは、耐震工法・

制震工法・免震工法の

3つの改修案の比較と、

増築棟の新設による

整備に加え、新築案

につきましても比較検討

を行っています。耐震工法と

制震工法につきましましては、

整備コストを考慮し、

平時の職務執行に求められる

Is値0.75を確保することとし、

災害対策本部機能は、免震工法で新築する

増築棟とし、Is値0.9

以上のものを整備し、防

災力を確保することが

できる建物を検討しております。